

衣掛池（こかけいけ）

位置図



諸元

| | |
|------|---------------------|
| 貯水量 | 242 千m ³ |
| 満水面積 | 5.5 ha |
| 受益面積 | 47.5 ha |
| 堤高 | 6.2 m |
| 堤長 | 436 m |

衣掛池は、高松市鬼無町の西部運動公園の東側に位置しています。古川からの取水や本津川からの揚水で47.5haの灌漑をまかない、勝賀山麓の山走り水の受皿としても大きな役割を担っています。「衣掛池の碑」によると、「西嶋八兵衛が寛永三年(1626)から十三年に掛けて、生駒領内で、神内池など90余を築造した。この池もその1つなり。」と記載されています。

衣掛池はその後、何度も増改築がなされた記録があります。昭和39年の県営香東川沿岸用水改良事業として本津幹線水路(奈良須池から衣掛池までの延長5.6km)が整備され、この池の貯水が容易となりました。また、香川用水もこの幹線水路を利用しています。近年では、昭和50年から3ヵ年をかけ団体営老朽ため池等整備事業で、延長436mの堤防工事と洪水吐1か所、樋管2か所の補強工事を行いました。また、「揺(ゆる)」に使われていた木材が先人の偉業を忍ぶモニュメントとして老朽溜池整備記念碑の横に組立てられています。

池の北側には、日本で唯一の「舌出し閻魔像」が安置されている円蔵院観音堂があります。境内に享保年間の石塔があり、旧丸亀街道沿いの休憩所として、池と共に地域を見詰めた場所でありました。また、地元自治会が近くの「ぼっくりさん」の大護摩たきに合わせて、春秋の彼岸に出て、参拝者に接待をしてにぎわっています。



衣掛池



揺(ゆる)モニュメント